

平成 30 年 12 月 2 日（日）10 時～12 時

参加者 34 人

今崎野公民館

避難所ゲーム“チャレンジ！”実施記録

ゲームの紹介

（太田）このゲームは、「避難所ゲーム“チャレンジ！”」と言います。私が明石高専の学生と一緒に作ったゲームです。

災害時の避難所運営を想定して、グループで力を合わせて問題を解決します。第 1 ステージで準備作業をいくつか行い、その後、第 2 ステージで次々にハプニングが起こります。その対応に対して、準備が十分な場合は得点が得られます。最終的に得点が多いチームが優勝です。

得点の付与は「ゲームマスター」が行います。今回のゲームマスターは私太田、サブマスターが大野会長です。また、3 人の役員がサポート役です。

0. 各テーブルに用意するもの

- 1) 周辺の地図 各テーブル 1 枚
公民館、広場、コンビニ、公衆電話がわかるように記入した地図 各テーブル 1 枚
- 2) 公民館の建物の簡単な図面 各テーブル 1 枚
- 3) 公民館内の使えるもののリスト 各テーブル 1 枚
A 4 用紙に、リストアップしたものを作り各テーブルに 1 枚
- 4) ポストイットとプロッキーペン（人数分）
- 5) 模造紙 各テーブル 2 枚
- 6) 得点記入表 各テーブル 1 枚
- 7) 参加賞とチャンピオン賞（対象の人数分）
- 8) A 4 用紙（白紙）各テーブル人数分+5 枚

1. グループ分け

5 グループに分ける

メンバー振り分けは会長

2. 自己紹介

ポストイットに自分の名前を書いて胸に貼ってください。

簡単にグループ内で自己紹介してください。

各グループのリーダーと書記を決めてください。

リーダーは、ゲームの中でチャレンジすることができます。

書記は、みんなの意見の整理や得点の記入をしてください。

3. 時間配分

自己紹介まで 10 分 第 1 ステージ 40 分 第 2 ステージ 60 分
表彰 太田：補足説明と講評 大野会長：まとめとあいさつ 10 分

4. 第1ステージ

＜ゲームの想定＞

12月のある日、朝9時頃に大きな地震が起きました。揺れが1分以上続き、立っていられないほどの激しい揺れです。南海トラフの地震のようです。

近所の人たちが20人ほど今崎野公民館に避難してきました。

あなたたちのグループで、当面この避難所を運営することになりました。

力を合わせて、円滑な運営ができるようにがんばってください。

ライフラインのうち、電気が使えますが、水は使えません。

携帯電話はつながりません。

公民館のガスはプロパンなので使えそうです。

準備作業①

グループの各人の役割分担を決めてください。どのような役割が必要なのかも自分たちで考えてください。

準備作業②

2階のこの部屋が避難所のメインの部屋です。この部屋に何人が収容できるか(最大可能な人数)も考えてください。

この公民館の各部屋をどのように使うかを考えてください。

準備作業③

公民館のまわりに少し広場があります。長谷川さんの了解ももらえたので、ある程度の利用は可能です。これらの空間をどう使うかを考えてください。

準備作業④

避難してきた人の名簿を作ります。その様式(どんな項目を書いてもらうか)を考えてください。

準備作業⑤

避難所でのルールを決めて壁に貼ろうと思います。そのルールを作ってください。

5. 第2ステージ

これからいろいろなハプニングが起こります。それに有効な対応を考えていたチームには点数が与えられます。

また、ゲームマスターの模範解答以外にも、これは有効でないのかと思うチームは「チャレンジ！」できます。

どんどんチャレンジしてください。

ハプニング①

ペットの犬(トイプードル)を連れてきた人がいました。避難者の他の人から苦情が出ています。どうしますか？

→★ペットの居場所を考えていた、あるいはペットについてルールを考えていたチーム 10点
すべてのグループがルールを考え、部屋も考えていた。

【避難におけるペットの扱いについての解説：太田】

- ・ペットは避難所に連れてくる。
- ・そのさい、みんなに迷惑をかけないように事前の訓練が必要。
- ・連れてきたペットの場所や扱いの方法は地域で決める。

ペットの避難の解説資料「備えよう いつも一緒にいたいから」を配布

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2309a/full.pdf

ハプニング②

車いすで避難してきた人がいます。どうしますか？

→★要援護者への対応のための部屋を用意していたチーム 10点
すべてのグループが部屋を用意していた。

非常に正解率が高く、このままでは、全チーム全問正解で終わりそうなので、会長からの提案で、ほかの工夫があった場合、「チャレンジ！」して加点していくことにルール変更
<チャレンジ！>

そのほかにも、高齢者への配慮や障害者への配慮などの様々な計画があった。
その程度に応じて加点。

【要援護者への地域の対応についてお願いと解説：大野会長、太田】

- ・地域として、近所の方を心配して把握することが重要（会長から）
- ・明石市は、名簿について逆手上げ方式というめずらしい仕組みを条例化しているので、名簿に載せないでと言っていない方の情報は自治会としても共有可能。活用してほしい。（太田）

<参考>明石市 要配慮者対策

https://www.city.akashi.lg.jp/fukushi/fu_soumu_ka/shise/koho/oshirase/h25/documents/tebiki2.pdf

ハプニング③

トイレが水が出ないため使えません。男の人は海岸まで行ってしているようでしたが、おばあさんが我慢しきれずに漏らしてしまいました。さて、どうしますか？

→★トイレの使い方のルールを決めていたチーム 10 点

かなりのグループがルールを考えていた。

<チャレンジ！>

実際にトイレの準備を考えていたグループも多かった。

【避難所でのトイレ問題の解説：太田】

- ・避難所のトイレの問題は重要。
- ・災害時に水を流す場合は慎重に

参考：<http://www.risktaisaku.com/articles/-/2236>

- ・この集会所は1階に便所があり、ためしに水を流して流れるようであったら、近くの水路の水を溜めておけば使える

ハプニング④

市役所から支援物資を持ってきてくれました。どうしますか？

→★物資の受け入れ場所や配布場所を考えていたチーム：10 点

受け取り場所を考えていたグループは少なかった。

チャレンジは特に出なかった。

【物資受け入れについての話題提供：太田】

ハプニング⑤

夕方、親戚を尋ねてきた人がいました。名簿には名前がありますが、いくら呼んでもいません。どうしますか？

→★出て行った人の管理もできるように名簿を考えていたチーム：10 点

かなりのグループが管理できる名簿を考えていた。

<チャレンジ！>

点呼の計画を持っていたチームにも加点

【避難所での避難者情報の整理についての新しい動向の解説：太田】

ハプニング⑥

避難所にいる人で体調の悪い人が出ました。高熱があり咳もしています。インフルエンザのようです。どうしますか？

→★外部の病院との連絡役を決めていたチーム：10点

<チャレンジ！>

名簿作成時に職業や特技などを聞く予定のチームにも加点

<補足説明>

家族とどのように連絡を取るか、は重要

①公衆電話について

- ・公衆電話はつながりやすいので場所をかならず知っておくこと

http://www.soumu.go.jp/main_content/000162017.pdf

- ・災害時の特設公衆電話が藤江小学校に設置される予定になっている
- ・セブンイレブンのw i f i セブンスポットが使えるはず

②災害伝言ダイヤル 171

③災害があった場合の避難先を家族で決めておく

◎得点の確認とチャンピオンチームの決定

◎表彰

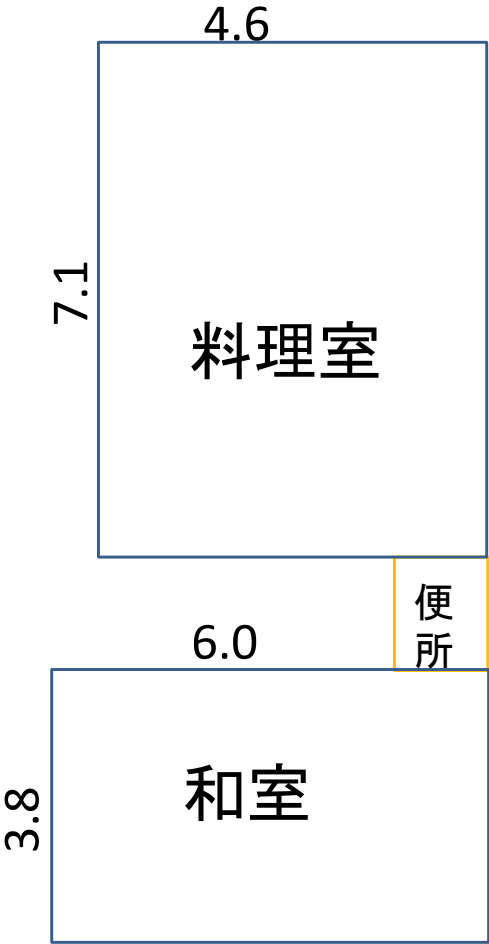
◎大野会長あいさつ

藤江今崎野自治会「避難所運営ゲーム“チャレンジ！”」感想（抜粋）

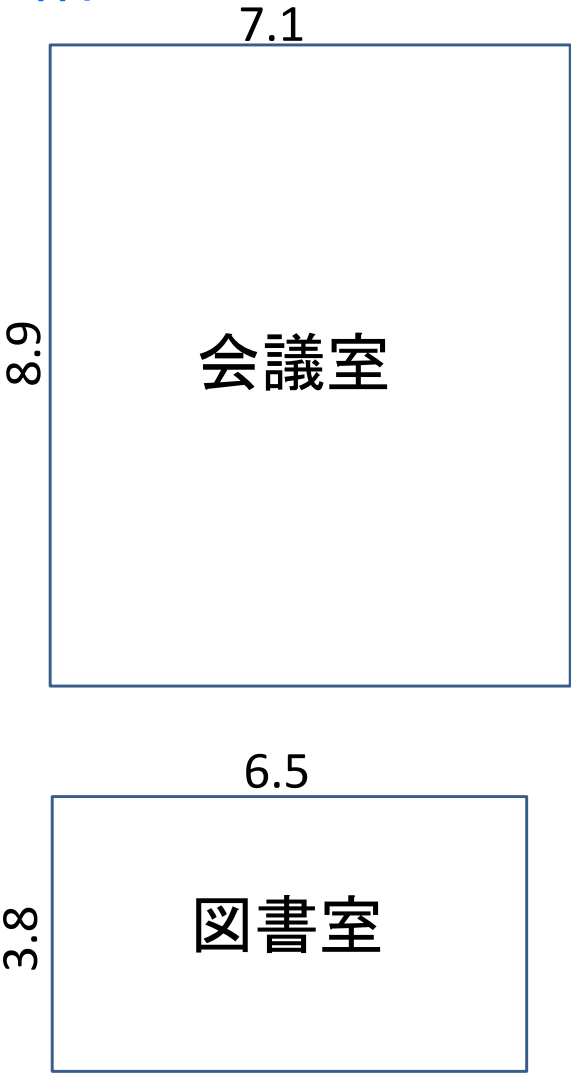
- ・想像していない事態が起こるので、事前に想像していることが必要と思いました。
役割分担、何ができるかを決めておくことが必要と思いました。（30代男）
- ・防災について特に勉強する機会がなかったので、自己流の知識しかなかった。
グループでいろいろな意見を出し、地域の方々からのヒントをもらい、なんとか高得点を得られました。
役割を決めてチームを作ったり、トイレの問題などを知ったりして、深く学べた。（40代女）
- ・得点形式で、楽しく、どんどん意見を出したく（発表したく）なるような研修で、たくさんほかの意見が行けてよかったです。うまく問題を作られているなと思いました。
多くの方が集まると意見もたくさん出るものだと思います。知らないこともあり参考になりました。（50代女）
- ・お話を聞くだけより実践的に考えるので覚えておけるとおもいます。
大人よりも子供の発想もおもしろく、みんなで意見を出すとたくさんの知恵が出るので良いと思いました。（30代女）
- ・地震が起きた時に活用できそうです。楽しかった。思い付きで言ったことが、あとで点数になったのが良かった。（12歳 男）
- ・このゲームに参加させてもらって今まで経験したことがないことまで強く考えさせられました。
食べ物の大切さや水の重要なこと、地域の方々との助けいのこころ。協力してやっていきたいとおもいます。（50代女）
- ・災害の備えが重要。今日のゲームで何もわかっていなかったということをあらためて痛感しました。
家族、近所と災害について話し合うことが必要だと思う。いろいろ勉強になった。（79歳女）
- ・勉強になりました。また、このようなことをしてほしいです。災害はいつ起こるかわからないので本当に怖いと思います。（65歳女）
- ・公民館の受け入れ態勢が必要だと思います。災害は来るものだと思います、ふだんから隣人と「助け合う」と改めて感じました。
- ・公民館に避難することができることが今日のお話でわかったので安心しました。
今までははっきりとはわからなかったのですが、家族とこれからきっちり話し合います。（75歳女）

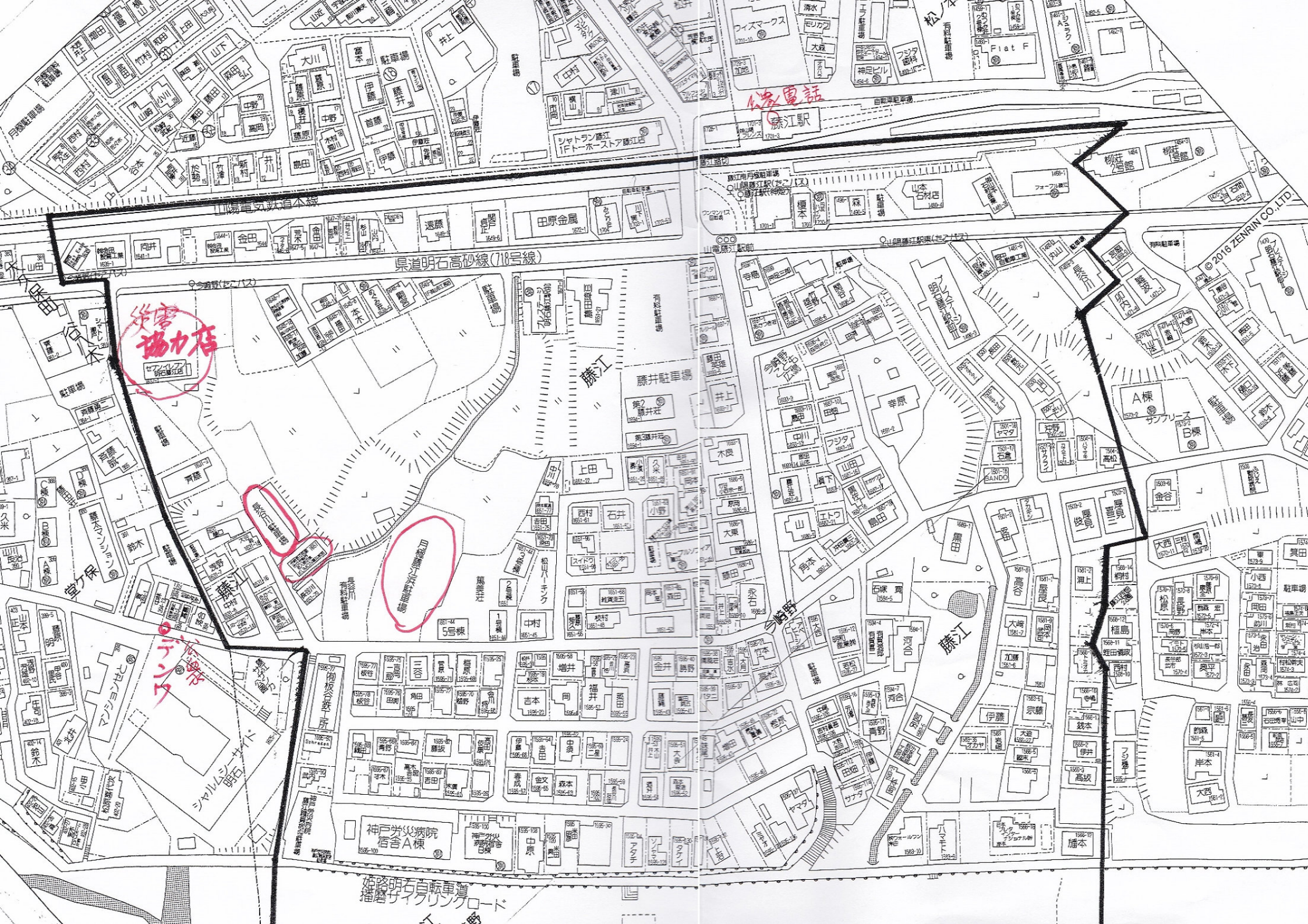
今崎野公民館概略図

1階



2階





公民館内で使用できる物リスト

	使用できる物	個数	備考	
①	テント	1		
②	車イス	4		
③	電気炊飯器	1		
④	鍋、フライパン	4		
⑤	茶碗、お皿、小鉢			
⑥	サランラップ	4		
⑦	紙コップ			
⑧	ビニール袋		大、小	
⑨	座布団	30		
⑩	バケツと雑巾			
⑪	段ボール	10		
⑫	新聞			
⑬	防災無線	1		
⑭	地域内放送設備	1		
⑮	懐中電灯	4		
⑯	誘導灯	5		
⑰	救急箱	1		
⑱	防災資機材	1	タンカ	1基
			ハンマー	4個
			かけや	2個
			ヘルメット	4つ
			皮手袋	10足
			防犯灯	4個
			バケツ	4個
			ロープ	2本